

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	穏やかに暮らせるまちの形成
基本方針	認め合い支えあえるまち
基本施策名	地域福祉の推進

	所属	職名	氏名
作成者	長寿社会課	課長	野本 岳洋
評価者	福祉部	部長	花村 潔

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	<p>少子高齢化や核家族化が進み、また福祉制度も複雑化するなか、地域でのつながりが希薄化しており、「地域において支え合える関係が築けていると思う」という市民も34.5%にとどまっている。</p> <p>第3期地域福祉計画を市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に策定し、平成30年度から推進を図る中で、各区を単位としたいろいろな活動を通し支え合える地域を目指すことで、地域福祉の推進を実感できる地域を目指していくこととした。</p> <p>また、住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らせるまちをつくるための施策を展開していくが、コンパクトシティ構想もあるなかで、各施策を効率よく組み合わせ、市民が満足する、持続可能な福祉サービスを選択していく必要がある。</p>
基本方針 (目指すべき方向性)	市民が健康で生きがいを持ち、安心して生活ができるよう、地域の絆を深めて支えあい、一人ひとりが輝くことのできる、地域福祉が充実した社会の実現を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
NPO法人登録数 (累計)	団体		35	40	43	44	110	予定以上	長寿社会課
ボランティア登録者数 (累計)	人		3,229	4,000	3,875	3,897	98.4	順調	長寿社会課

施策指標の進捗状況と分析	<p>NPO法人数について、福祉に関する新規事業への参入が厳しい情勢となっており、横ばいとなっている。</p> <p>地域でのボランティア登録者数は、就労年齢の長期化や実践者の高齢化に伴い横ばい傾向となっており、今後も市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターを中心とした推進策が必要となる。</p>
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化			
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期		方向性	正規職員数	
1	0103005	民生児童委員協議会運営	福祉政策担当		35,412,470	35,410,880				70,823,350	定型業務	継続	H35以降	現状のまま実施することが適切	0.25	
2	0103010	地域福祉計画推進策定事業	福祉政策担当		77,000	297,500	105,000	105,000	584,500	政策的業務	継続	H35以降	現状のまま実施することが適切	1.25	○	
3	0103015	ささえあいセンター指定管理業務	福祉政策担当		5,003,552	5,032,000			10,035,552	施設の管理運営	継続	H30	現状のまま実施することが適切	0.16		
4	0103020	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業	福祉政策担当		88,114,070	94,408,281	98,974,000	98,974,000	380,470,351	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1		
5	0103025	心配ごと相談事業	福祉政策担当		3,981,000	3,973,099	3,981,000	3,981,000	15,916,099	政策的業務	継続	H35以降	事業の進め方の改善が必要	0.08		
6	0103030	婚活事業	福祉政策担当		1,999,080	2,000,000	2,000,000	2,000,000	7,999,080	政策的業務	継続	H35以降	事業の進め方の改善が必要	0.33		
7	0103035	災害時避難行動要支援者名簿作成事業	福祉政策担当		1,790,985	1,724,147			3,515,132	義務業務	新規	H35以降	現状のまま実施することが適切	0.41		
8	0103040	戦没者追悼式	福祉政策担当		435,628	455,819	512,000	512,000	1,915,447	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	1		
9	0103050	福祉医療費給付事業	福祉政策担当		570,344,533	583,699,513	586,258,000	588,930,000	2,329,232,046	義務・政策併用事業	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.5		
10	0103055	福祉医療費貸付事業	福祉政策担当		6,087,534	6,005,077			12,092,611	定型業務	新規		現状のまま実施することが適切	1.5		
11	0103060	臨時福祉給付金給付事業	福祉政策担当		362,520,412	231,604,495			594,124,907	定型業務	新規	H29	現状のまま実施することが適切	2		
12	0103765	災害弔慰金等支給事業	福祉政策担当		330,000	480,000			810,000	義務業務		期限なし	現状のまま実施することが適切	0.5		
合計					1,076,096,264	965,090,811	691,830,000	694,502,000	3,427,519,075							

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	<p>地域福祉を推進するうえで、地域活動の重要な役割を担う民生児童委員や市社会福祉協議会の活動は今後も市政の重要なパートナーとなるため、個々の経費を精査しながら、当面事業を継続していきたい。</p> <p>婚活事業については、人口維持対策として重要な案件であるため拡充していくべきと考えるが、他施策との連携を図り、効率的な運用をしていく必要がある。</p> <p>乳幼児の福祉医療給付事業は子育て施策として有効であり、使いやすい制度にしながら今後も継続していく必要がある。障がい者やひとり親家庭への支援も有効な支援となっている。</p>
重点化事務事業の考え方	平成30年度から第2次安曇野市総合計画及び第3期安曇野市地域福祉計画・地域福祉活動計画が施行となり、その理念の推進を図っていくため、これまで以上に地域での自主活動などを支援し、新たな視点での推進策を講じていく必要がある。
縮減・廃止事務事業の考え方	臨時福祉給付金は、平成29年度で終了となる。

平成29年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	穏やかに暮らせるまちの形成
基本方針	認め合い支えあえるまち
基本施策名	地域福祉の推進

	所属	職名	氏名
作成者	長寿社会課	課長	野本 岳洋
評価者	福祉部	部長	花村 潔

総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	<p>民生児童委員の活動は、地域福祉を推進するうえで重要であり、活動を支援しながら個別案件等への支援強化を図っていく。 また、災害に備えた地域づくりの取り組みも重要な案件であり、福祉避難所の指定拡充や地域での避難行動要支援者への個別支援にも取り組んでいく必要がある。 諸施策を通じ、地域でのあたたかい思いやりと支え合いが充実していると実感できる地域を構築していく必要がある。</p>
-------------------------	---

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	穏やかに暮らせるまちの形成
基本方針	認め合い支えあえるまち
基本施策名	高齢者福祉と生きがい対策

	所属	職名	氏名
作成者	長寿社会課	課長	野本 岳洋
評価者	福祉部	部長	花村 潔

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	平成29年5月に、本市の高齢化率が30%を超え、超高齢化と少子化が進む中、社会保障費の増大が問題となっている。社会保障費を抑えていくためには、元気な高齢者を増やしていく必要があり、そのためには総合計画の基本目標である「いきいきと健康に暮らせるまち」を目指し、「誰もが生きる喜びを感じ、住み慣れた地域で健康に暮らせるまち」をつくる施策が重要となる。 また、介護が必要な高齢者は、施設に入所するよりも、住み慣れた地域でなるべく長い期間生活したいという思いもあり、介護コストの観点からも在宅介護支援を充実させていく必要がある。 そのような観点から、福祉分野だけではなく、生涯学習や地域でのグループ活動などの各施策の充実を市全体で図っていく必要がある。
基本方針 (目指すべき方向性)	高齢者の生きがいづくりを推進し、一人ひとりが質の高い豊かな暮らしができるまち、心身ともに健康であり続け自立し安心して暮らすことができるまち、高齢者の笑顔があふれるまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
地域包括支援センターの設置箇所(累計)	箇所	3	3	3	3	3	100	順調	介護保険課
高齢者の生きがいと健康づくり推進事業補助金交付数	団体	88	99	90	91	93	93.9	順調	長寿社会課
緊急通報装置設置数	世帯	319	350	297	300	288	82.3	順調	長寿社会課

施策指標の進捗状況と分析	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業補助金の交付件数は、地域公民館単位での活動であり、90%の分館で実施した。補助金の実績がない分館でも、他の補助金等を活用して実施しているなど何かしらの高齢者を対象とした行事は行っていると思われる。 緊急通報装置の設置数については減となったが、入所や死亡に伴う減が59件、新規設置が47件となっており、ケアマネなど支援者の協力もあり、必要とする人には設置が進んでいる。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0103295	福祉有償運送運営協議会事務	長寿福祉係		24,500	28,000				52,500	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
2	0103300	福祉バス運行事業	長寿福祉係		5,158,838	3,721,454				8,880,292	政策的業務	継続	H29	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.17	
3	0103305	老人大学委託事業	長寿福祉係		2,932,785	2,977,341				5,910,126	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
4	0103310	シルバー人材センター運営助成事業	長寿福祉係		10,956,000	10,028,000				20,984,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.17	
5	0103315	老人クラブ連合会育成事業	長寿福祉係		6,373,200	6,895,500				13,268,700	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
6	0103320	老人福祉センター運営補助事業	長寿福祉係		13,537,029	16,340,955				29,877,984	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
7	0103325	地域グループ支援事業	長寿福祉係		520,000	520,000	520,000	520,000		2,080,000	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
8	0103330	入浴料金割引券交付事業	長寿福祉係			26,144,396	45,593,000	45,593,000		117,330,396	政策的業務	新規	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.34	
9	0103335	介護慰労金支給事業	長寿福祉係		29,650,000	28,400,000				58,050,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
10	0103340	高齢者祝賀事業	長寿福祉係		3,541,760	3,411,009				6,952,769	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.17	
11	0103345	配食サービス事業	長寿福祉係		21,047,030	21,254,570	21,767,000	22,202,000		86,270,600	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.17	
12	0103350	軽度生活援助サービス事業	長寿福祉係		1,019,565	1,010,471				2,030,036	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
13	0103355	緊急通報サービス事業	長寿福祉係		9,348,286	9,035,089				18,383,375	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
14	0103360	生活管理指導員派遣事業	長寿福祉係		458,000	216,000				674,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
15	0103365	高齢者の生きがいと健康づくり事業	長寿福祉係		3,328,937	3,413,572	3,510,000	3,510,000		13,762,509	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
16	0103370	健康長寿のまちづくり推進事業	長寿福祉係		2,407,555	2,223,240	5,211,000	5,211,000		15,052,795	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	○

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	穏やかに暮らせるまちの形成
基本方針	認め合い支えあえるまち
基本施策名	高齢者福祉と生きがい対策

	所属	職名	氏名
作成者	長寿社会課	課長	野本 岳洋
評価者	福祉部	部長	花村 潔

17	0103375	高齢者にやさしい住宅改良促進事業	長寿福祉係		1,543,000	630,000	3,150,000	3,150,000	8,473,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施が適切	0.17	
18	0103380	緊急宿泊支援事業	長寿福祉係		15,360	39,300			54,660	定型業務		期限なし	現状のまま実施が適切	0.1	
19	0103385	訪問理美容サービス事業	長寿福祉係		348,000	382,000			730,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施が適切	0.1	
20	0103400	高齢者外出支援事業	長寿福祉係		3,467,672	3,652,319	3,767,000	3,767,000	14,653,991	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施が適切	0.1	
21	0103405	生活管理短期宿泊事業	長寿福祉係		1,656,000	1,388,000			3,044,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施が適切	0.34	
22	0103410	老人福祉施設入所措置事業	長寿福祉係		89,786,167	94,634,114			184,420,281	義務業務	継続	期限なし	現状のまま実施が適切	0.34	
23	0103415	老人福祉施設等管理事業	長寿福祉係		110,285,469	129,574,642			239,860,111	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施が適切	0.34	
合計					317,405,153	365,919,972	83,518,000	83,953,000	850,796,125						

<p>事務事業量とコスト(費用対効果)の分析</p>	<p>福祉バス運行事業については、利用者の減が著しいため、平成30年度に廃止する方向で検討する。 健康長寿のまちづくり推進事業など、元気な高齢者の活動を支援する事業については、効果が検証できるまでに時間がかかるが、実施している活動内容をみると目的に沿っており、今後も継続、充実させていく必要がある。 在宅介護を支援する事業は、住み慣れた地域で暮らすための支援施策となっているが、内容について精査し、見直しが必要な事業は見直しを検討する。 市の老人福祉施設については、再配置計画に基づき譲渡の方針のものはすすめ、継続の方針のものは長寿命化を進めるための計画策定をすすめる。</p>
<p>重点化事務事業の考え方</p>	<p>健康長寿のまちづくり推進事業は、元気な高齢者を地域で増やすことに有効であり、今後もグループの増加を図りながら、継続、充実させていく必要がある。</p>
<p>縮減・廃止事務事業の考え方</p>	<p>福祉バス運行事業については、利用者の減少が著しいため、平成30年度中に運行を終了する方向で検討する。</p>
<p>総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)</p>	<p>総合計画策定時に実施した市民アンケートで満足度が低かった、「高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている」や「高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている」などの項目の満足度を上げるための施策を講じる必要があり、そのことが健康長寿や介護予防に寄与していくと考える。 また、元気な高齢者が増えることで、介護保険給付費や国保給付費が抑えられる効果も期待できることから、庁内各事業とも連携を図り、効率よい事業を推進していく。</p>